

(御参考)

核燃料リサイクルをはじめ積極的な原子力平和利用開発をすすめている原子力大国の日本として、近隣アジア諸国が経済発展のもととなるエネルギー・原子力開発に対して、どう責任を果たしていくべきか。添付資料（先刻御承知と存じますが）を御参考に、しばし御高見を伺えれば幸に存じます。

後藤 武一郎

森 一久

196. 7/28

通産省

場原大臣方向

事前資料

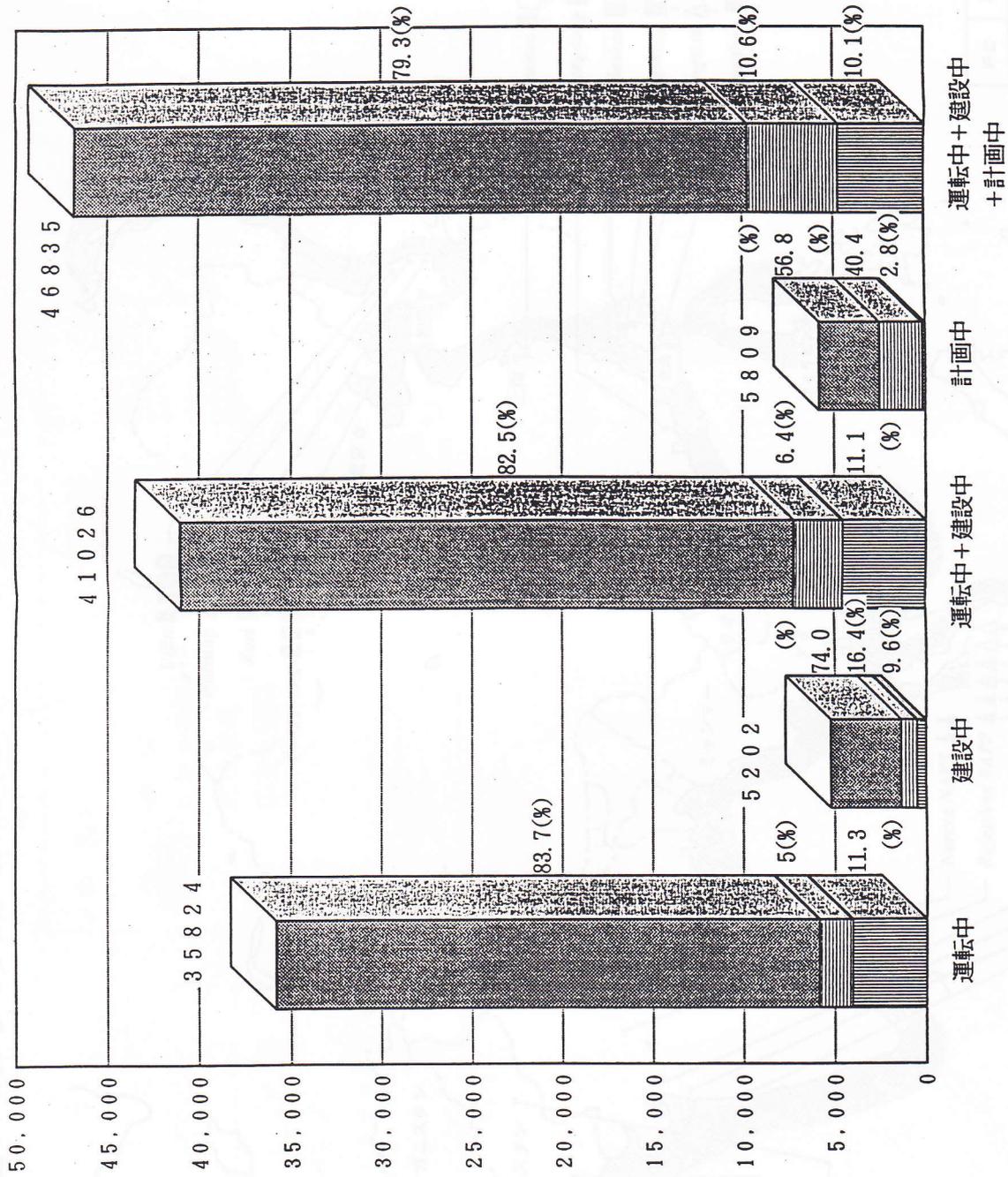
表 I-3 主なアジア諸国の電力需給状況

	電力需要の推移 (TWh)			電力化率の推移	
	1980	1992	92/80	1980	1992
中 国	300.6	754.2	8.0%	20.2%	26.6%
インドネシア	8.4	42.9	14.6%	10.3%	17.3%
マレーシア	10.0	30.0	9.6%	25.7%	23.9%
タ イ	14.0	57.0	12.4%	28.3%	35.7%
フィリピン	18.0	27.0	3.4%	41.6%	42.7%
シンガポール	7.0	18.0	8.2%	25.9%	26.4%
イ ン ド	119.3	327.9	8.8%	28.8%	40.4%
日 本	514.1	788.3	3.6%	32.6%	39.1%

出所：IEA “ENERGY STATISTICS AND BALANCES OF NON- OECD COUNTRIES”
電気事業連合会「電気事業便覧」より作成。

図1-(2) 建設中及び計画中の原子力発電設備容量

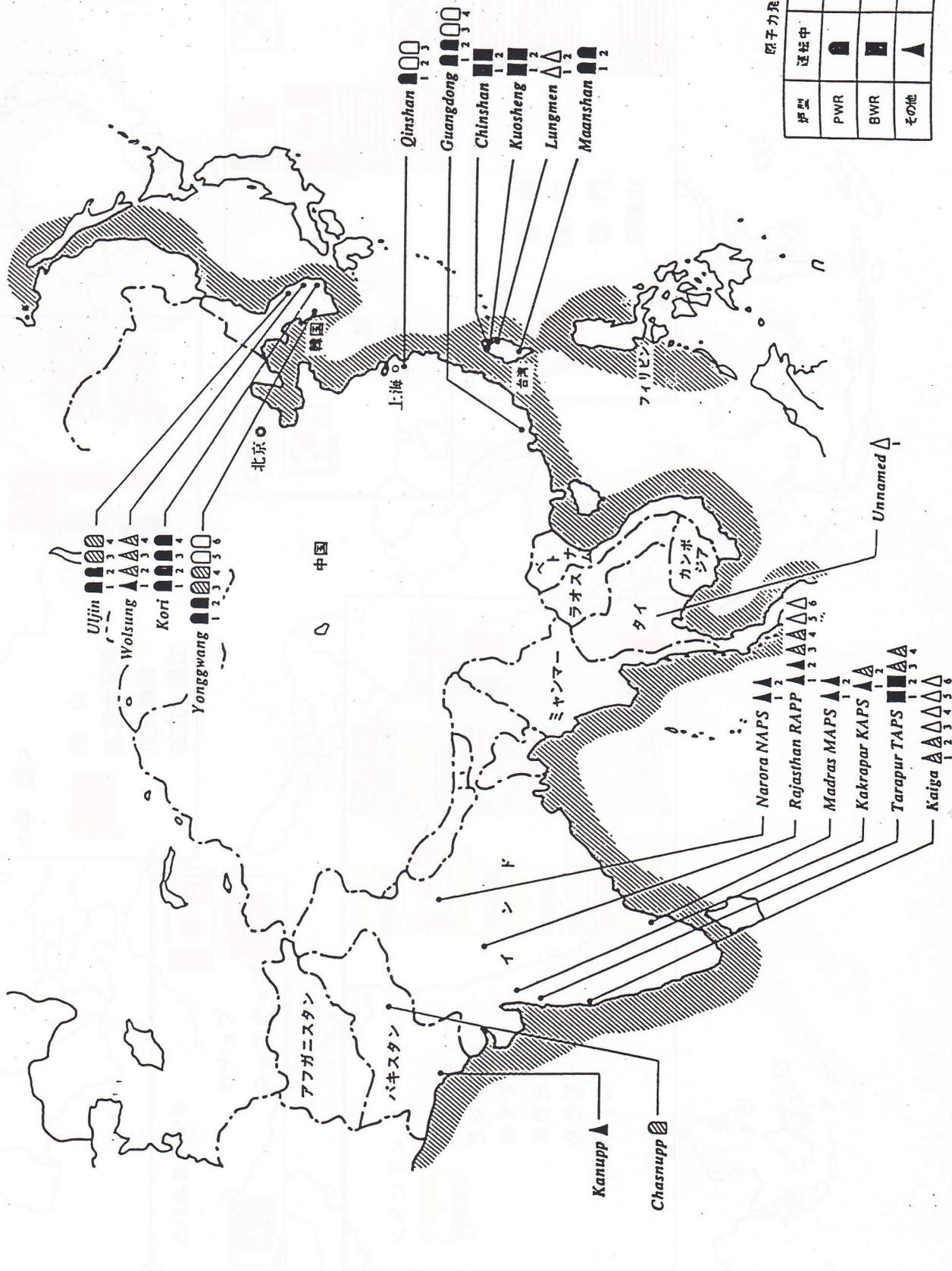
(6月末値, 単位万kw)



縞: 世界 (除日本, アジア)
 三: アジア (除日本)
 罫: 日本

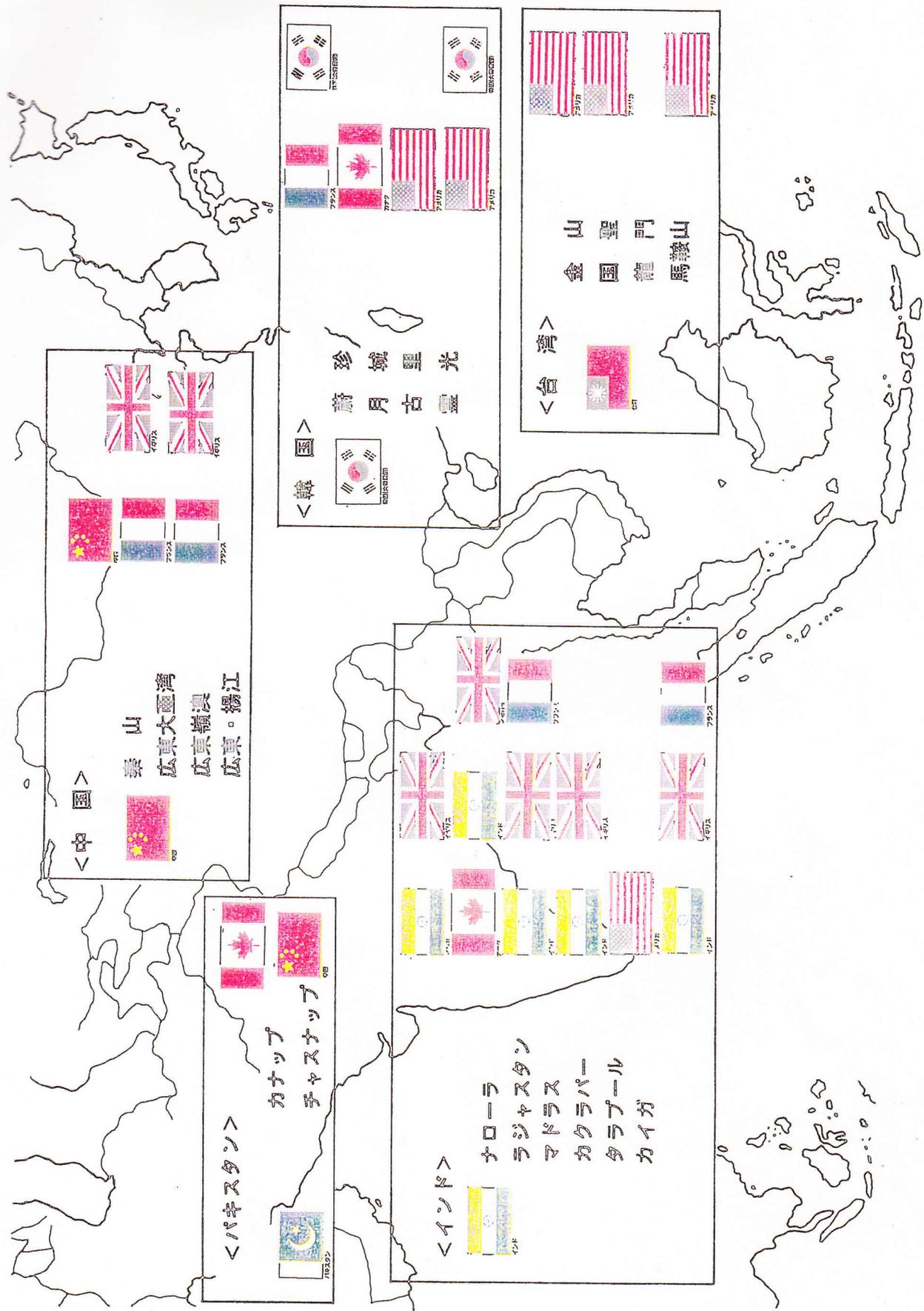
図 2 - (1)

アジア諸国の原子力発電所分布地図



(出典) 原産「世界の原子力発電開発の動向」

図 2 - (5) アジア諸国原子力発電所主契約国



(出典) 原産「世界の原子力発電開発の動向」により作成